

\* \* \* 地球物理学教室同窓会創設の経緯 \* \* \*

京都大学理学部地球物理学教室同窓会は2003年3月に発足しました。創設の経緯は、以下に記すようであったと思われまゝす。すなわち、創設へ向けての具体的な準備は2001年頃に始められましたが、創設の契機となる意見交換はそれ以前に遡るようです。岩崎好規氏（本同窓会副会長）と竹本修三氏（2002年度教室主任）、ならびに岡田篤正氏（2001年度教室主任）からは、創設当時の資料を提供していただき、説明を賜りました。それらをまとめて以下に並べます。さらにそれにつづけて、2007年2月開催の同窓会総会で配布された会員名簿掲載の「京都大学地球物理学教室同窓会略史」の頁を複写して並べました。この略史には2002年3月開催の「地球物理学教室同窓の集い」から2006年3月開催の地球物理学教室同窓会までのそれぞれの概要が記されています。各年開催の同窓会報告は、2007年2月開催以降のものは本同窓会のHPに掲載しています。それ以前につきましては、こちらの複写紙面をご覧ください。

2019年11月3日

文責： 諏訪 浩（総務）・荒木 徹（元会長）

---

1999年（H11）に**地球物理学教室 80周年記念行事**が開催された。2年後の2001年7月に、この**記念行事実行委員会**が「**京都大学地球物理学教室関係者名簿**」を発行し関係者に配布した。

その名簿冊子には、「**ご挨拶 ～名簿発行に際しての緒言～**」と題する紙面が挟み込まれている。平成12年度の教室主任 岡田篤正氏によるものである。それには、

---

「……。これからの大学はさらに社会に開かれ、産・官・民の強い連携が期待されております。国立大学の独立行政法人化についても議論されております。こうした機会に、卒業生や在籍されました教職員が「地球物理学」の旗の下に集まって、交流の場を持ち、様々な意見の交換ができましたらと考えております。

**同窓会の発起人**の（財）地域地盤環境研究所の岩崎好規所長や現主任を中心として現在準備中でありまゝすので、忌憚のないご意見を下記までお寄せいただきましたら、幸いに存じます。

平成13年（2001）7月吉日

地球物理学教室平成13年度教室主任 岡田篤正

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町 京都大学理学研究科地球物理学教室 主任宛

---

と記されている。

すなわち、同窓会設立への動きは2001年7月の時点より前、たとえば、1999年開催の地球物理学教室80周年記念行事の頃とも思われる。しかし、以下の情報を考え合わせると、設

立へ向けての準備は 2001 年頃に始まり、具体化へ向けての作業が始まるのは 2002 年になってからのようである。

なお、岡田氏は「当時 副学長でいらした尾池先生から、京大全学でも同窓会を立ち上げる動きがあるとも伝えられたので、地球物理でも同窓会が必要と感じた。」と述べられている (2019 年 11 月)。

一方、[地球物理学教室年報第 11 号](#) (2003 年 7 月発行) の「1. はじめに」の「●大学をめぐる新しい動き」の末尾には、

「……。さらに、地球物理学教室の[同窓会設立総会](#)が平成 15 年 (2003) 3 月 22 日に理学部 6 号館 301 教室に於いて開催され、同窓会の設立が決まりました。当面同窓会名簿を作成することと、年 1 回の同窓会開催を目指しての活動が始まりました。」

と記されている。

この「1. はじめに」は、平成 14 年度教室主任でいらした竹本修三氏が記されている。

なお、[岩崎好規氏](#)から 2017 年 5 月 16 日に[同窓会草創期についての情報](#)を頂戴した。それには概ね次のように記されている。なお、下記の 2002 年 3 月開催の「同窓の集い」報告の部分の末尾に岡田篤正氏から 2019 年 11 月に頂戴した情報を補足として付け加えている。岩崎氏からの情報は、上述の記録や記述を補うものである。

『地球物理学教室の同窓会の創設の動きは 2002 年 3 月 23 日に遡る。当時 副学長であった尾池先生から同窓会一を創るために働いてくれないか? という声で始めた。

当時、教室の事務は同窓会に関する事は仕事の範疇にないという認識だったので、卒業生の情報を整備するのには苦労した。

2002 年 (H14)3 月に「[地球物理同窓の集い](#)」を開催した。概要はつぎのとおりであった。

日時： 3 月 23 日 AM 10-PM 5

場所： 農学部総合館西棟大講義室 (W100)

各講座の現況紹介や卒業生の就職先の民間企業、国の機関の活動報告などがあった。

懇親会 於 京大会館 (参加者 78 名)

(岡田氏による補足： 2002 年 3 月 23 日 (土) に地球物理同窓の集いを開催した。そこで同窓会の立ち上げも提案したが、規約に不備が指摘された。それで、規約を整備し直して、次年度に正式に立ち上げが認められた。)

この集いを受けて、2002 年 11 月に「[同窓会設立準備会](#)」を開催した。

日時： 11 月 8 日

場所： 理学部 4 号館 1 階会議室

出席者： 佐藤昭夫 (S25) 山元龍三郎 (S26) 尾池和夫 (S38) 岩崎好規 (S39) 竹本修三 (S 40H 14 教室主任) 岡田篤正 (H13 教室主任)

ここで [同窓会規約案](#)が検討作成された（岡田氏の情報によれば、規約案の再検討・修正と理解される）。そして、

2003年（H15）3月に「[地球物理学教室同窓会設立総会](#)」を開催した。

日時：3月22日

場所：理学部6号館301号室

出席者67名全員の賛成で同窓会規約等が可決され、第一期役員として会長に山元龍三郎氏、副会長に岩崎好規氏、会計に竹本修三氏、監査に田中寅夫氏が選ばれた。

なお、[同窓会事務](#)は、教室事務からの協力は得られなかったために、岩崎好規氏の所属機関である[地域地盤環境研究所に設置](#)することで、同窓会は活動を開始した。』

-----  
前頁の中程の行から始まる括弧『』で括る部分は、岩崎氏から2017年5月に頂戴した情報に基づく。

## 京都大学理学部地球物理学教室同窓会略史

**経過:**平成14年3月の同窓の集いの結果を受けて、同窓会規約(案)の検討するための会議を関係者各位に呼びかけて、平成14年成14年11月8日/京都大学理学部4号館1階会議室にて開催した。

(出席者:佐藤昭夫(昭和25年卒),山元龍三郎(昭和26年卒),尾池和夫(昭和38年卒),岩崎好規(昭和39年卒),竹本修三(昭和40年卒:地物教室H14年度教室主任),岡田篤正(教授:活構造学:地物教室H13年度教室主任))

同窓会規約の承認:このようにして、作成された同窓会規約(案)を基礎に、議論が重ねられ、2,3の修正が行われた。このようにして得られた規約は、出席者全員賛成によって成立した。

本規約の特徴は、会費は、入会費のみで3000円であり、会費を支払った会員は正会員とされる。その後、平成15年3月22日設立総会が京都大学理学部6号館301号室において開催され、総会出席者67名の全員の賛同を得て同窓会の結成が可決された。

### 第1期役員(2003/3-2005/3)

会長:山元龍三郎(気象S26),副会長:岩崎好規(応用地物S39),  
会計:竹本修三(S40:測地),監査:田中寅夫(測地S33),  
幹事:淡路敏之(教室主任:S47:海洋),町田忍(前教室主任:電磁気)  
水間満郎(S34:気象),徳田八郎衛(S36:電磁),里村幹夫(S45:測地),  
諏訪浩(S45:陸水<海洋>),吉川賢一(S47:応用地物),谷伸(S51:海洋),  
福田洋一(S52:測地),田部井隆雄(S57:測地),斎藤昭則(H4:電磁気),  
石川洋一(H6:海洋),内藤陽子(H6:気象)

### 第2期役員(2005/3-2007/3)

会長:山元龍三郎(気象S26),副会長:岩崎好規(応用地球S39),  
会計:町田忍(教室主任:電磁気),監査:田中寅夫(測地S33),  
幹事:淡路敏之(前教室主任:S47:海洋),水間満郎(S34:気象),徳田  
八郎衛(S36:電磁),里村幹夫(S45:測地),竹本修三(S40:測地),諏訪浩  
(S45:陸水<海洋>),吉川賢一(S47:応用地物),谷伸(S51:海洋),福田  
洋一(S52:測地),田部井隆雄(S57:測地),斎藤昭則(H4:電磁気),石川

## 京都大学地球物理学教室同窓の集い

日時 平成14年2002年3月23日(土) 午前10時から午後5時頃まで

場所 京都大学農学部総合館西棟大講義室(W100)

(現在の地物教室の前の建物)

10時 地球物理学教室における最近の研究紹介(1部) 司会 岡田篤正

### 測地学講座

福田洋一(助教授):精密重力計測と地球科学

奥山 哲(院博1年):合成開口レーダーを用いた火山性地殻変動の研究

### 地震学講座

渡辺邦彦(京大防災研助教授):「活断層の活動度評価」

Jim Mori(京大防災研教授):「2001年インド西部地震からわかること」

(What we can learn from the 2001 Gujarat, India earthquake)

### 地殻物理学講座

堤 浩之(助手):「古地震学:地形・地質に残された痕跡から過去の地震を復元する」

石山達也(院博4活断層研究センター就職予定):「逆断層運動により形成される変石山達也(院博4活断層研究センター就職予定):「逆断層運動により形成される変動地形の形成進化過程:濃尾・伊勢断層帯における事例研究」

海洋物理学講座

### 海洋物理学講座

石川洋一(助手):「4次元データ同化システムを用いた海洋大循環の研究」

中村知裕(院生):「千島列島域での潮流による低渦位水の生成と沖への輸送」

12時 昼食

13時 地球物理学教室における最近の研究紹介(2部)

### 気象学講座

余田成男(助教授):「成層圏-対流圏結合系の季節内変動と年々変動」

水田 亮(学振特別研究員予定):「南半球冬季成層圏極域でのカオス的移流による輸送・混合過程」

水田 亮(学振特別研究員予定):「南半球冬季成層圏極域でのカオス的移流による輸送・混合過程」

### 物理気候学講座

木田秀次(教授):「気候研究と数値モデル」

里村雄彦(助教授)：「降水に関する研究」

### 地球電磁気学講座

斉藤昭則(助手)：「電離圏イレギュラリティの二次元構造」

寺田直樹(院生)：「太陽風と金星超高層大気の相互作用の数値モデリング」

14時45分 産業界・民間・国の研究機関など 司会 岩崎好規  
公手忠(株地球科学総合研究所：昭和39年卒)「石油探しから地球の総合探査へ」

出井紘(株日さく：昭和46年卒)「水井戸からの出発」

村上 裕(独立法人産業技術総合研究所地球科学情報部門：昭和48年卒)：「旧地質調査所は今」

谷 伸(海上保安庁水路部管理課：昭和51年卒)「保安庁水路部」

丹羽 正久(松下電工：平成3年卒)「金属センサ(電磁応用センサ)の開発について」

懇親会 78名 於 京大会館

### 平成15年設立総会(67名出席)

日時：平成15年2004年3月22日(土)13:00-19:00

場所：北部構内理学部6号館301号室

会費：同窓会入会金(3000円(予定))

懇親会費用：5000円(懇親会場は、6号館ロビーか、北部生協食堂2階)

12:00-13:00 受付

13:00-13:10 報告：地球物理学教室の最近の動き(教室主任 竹本修三)

13:10-15:30 講演会：

講演および質疑応答(30分+10分)

13:10-13:50 GPS観測による西日本の地殻変動研究

橋本 学：京都大学 防災研究所地震予知研究センター・教授

13:50-14:30 地球および惑星電磁圏における素過程の研究

町田 忍：京都大学大学院理学研究科

地球惑星科学専攻地球物理学教室 太陽惑星系電磁気学講座・教授

14:30-15:10 「沈み込み帯の温泉-陸域と海域の物質循環系-」

由佐悠紀：京都大学大学院理学研究科

附属地球熱学研究施設 教授

15:10-15:40 「海底で地殻変動を測る試み」-現状と将来計画

安藤雅孝：名古屋大学大学院環境学研究科  
地震火山観測研究センター 教授

15:40-16:40 同窓会設立総会

17:00-19:00 立食懇親パーティ(57名；北部生協 ほくと)

### 平成16年度総会(出席者数44名)

日時：平成16年2004年3月13日(土)13:00-19:00

場所：北部構内理学部6号館301号室

13:10-13:50 強震動予測の到達点と今後の展望

入倉孝次郎 京大防災研究所 地震災害研究部門強震動地震学研究分野教授  
京都大学総長補佐

13:50-14:30 21世紀COEプログラム

「活地球圏の変動解明-アジア・オセアニアから世界への発信」

余田成男 京都大学大学院 理学研究科

地球惑星科学専攻地球物理学教室 大気圏物理学講座・教授

14:30-15:10 地球物理学教室で受けた教育と防災研究所における研究を振り返って

田中寅夫 名城大学理工学部 環境創造学科 社会資本環境研究室 教授

15:10-15:50 Estimates of African greenhouse gas emission from biomass burning using GIS and remote-sensing

SANGA Ngoie Kazadi(サンガ ンゴイ カザデイ)

16:00-16:50 同窓会総会

17:00-19:00 懇親会 (於 北部生協 ほくと)

### 平成17年度総会(出席者数44名)

日時：平成17年2005年3月19日(土)13:00-19:00

場所：北部構内理学部6号館301号室

講演会・総会プログラム

13:00-13:05 開会の挨拶

会長 山元龍三郎

13:05-13:15 地球物理学教室の近況

淡路敏之(教室主任)

13:15-13:55 COE(Center of Excellence)プログラムその後

余田成男(拠点プログラムリーダー)

13:55-14:35 京都盆地における大気汚染と悪性新生物による死亡率の推移  
川口 力(川口医院 院長:地物昭和 24 年卒)  
休憩

14:50-15:30 京都大学地球惑星科学専攻の発展に向けた固体地球系共同研究の紹介

平島崇男 (地質学鉱物学教室主任)

15:30-16:10 国立大学独立法人化は理学部に何を意味するか  
原田 憲一 (京都造形芸術大学芸術学部教授 地質学鉱物学科昭和 45 年卒)

中川要之助 (同志社大学理工学研究所助教授 地質学鉱物学科昭和 41 年卒)

16:10-16:30 質疑討議

16:40-17:30 同窓会総会

18:00-20:00 懇親会 (於:懇親会場:本部, 百周年時計台記念館 2 階 国際交流ホール (III)) (42 名)

平成 18 年度総会 (47 名出席)

日時:平成 18 年 2006 年 3 月 18 日(土)13:00-20:00

場所:北部構内理学部 6 号館 301 号室

講演会・総会プログラム

13:00-13:05 開会の挨拶 会長 山元龍三郎

13:05-13:15 地球物理学教室の近況 町田 忍教授(教室主任)

13:15-13:55 COE (Center of Excellence) プログラムその後  
余田成男 教授 (拠点プログラムリーダー)

定年退官教員講演

13:35 測地学と私-昭和 17 年から平成 17 年度まで-竹本修三 教授  
(固体地球物理学講座 測地学研究室)

14:05 京都の風水 木田秀次 教授(大気圏物理学講座 物理気候学研究室)

14:35 休憩

14:50 活断層研究の現状と数年間の調査計画 岡田篤正 教授(固体地球物理学講座 活構造学研究室)

地球物理学貢献講演

15:20 国家の主権範囲を描き出す地球科学-国連海洋法条約と大陸棚の画定- 谷 伸 内閣参事官(内閣官房大陸棚調査対策室担当, S51 年卒, 海洋学講座)

16:10 質疑応答

16:20 休憩

16:30 同窓会総会

18:00-20:00 懇親会 (於:懇親会場:北部生協 2 階ほくと) (47 名)